

- * 世間の「普通」に当てはまらないことだらけの私。そこから学び得た、目に見えない大切なもの
在日コリアン3世、脳に障害のある父、日本語が上手く話せない母、機能不全家庭での生活、身体障害、精神障害…みんなと違うということによる、周りの人からの偏見、そして自分自身の心の葛藤に、幼い頃から苦悩し続けた経験と、その経験があったからこそその“学び”。

①あなたの故郷はどこですか？

人と人との絆も、「故郷」というものも、ふれあうことで育まれていく。

「名前も住んでるところも知らないけど、ともだちだからまた会えるよね？」という5歳の男の子の言葉。いじめに遭った経験談

②母は寂しかったんだ。寂しさは人を時には鬼に変えてしまう。

③脳に障害のある父の驚きの行動に人生観が変わった。 等

- * 30歳を過ぎて本当の夢を目指し始めた私。

セルフプロデュースな人生だからこそ叶った私の夢

人生のどん底だった30歳、あることをきっかけに、“歌手になりたい”という幼い頃からの夢を目指すことになり、そこから私の人生は輝きだした。

想いは具現化する。なりたい自分のイメージを大きくふくらませて。ブレーキをかけないで。

- * 好きなこと=使命

好きなことを仕事に出来たら、どんどん社会や人の役に立ちたくなる！

- * 今、我が子に一番身につけてほしいものは、「想像力」

想像力は、創造力に繋がる。

自分の未来を思い描く想像力。相手の気持ちを理解する為に必要な想像力。

- * 命さえあれば、何度でもやりなおせる

何度も死のうと思ったからこそ、今、強く思うこと。そして、特に思春期の子どもたちに伝えたいこと…世界は広い。経験を積みれば見える世界が広がる。だから諦めないで。何度でもやり直せる。命さえあれば。どうか、命を大切にしてほしい”

- * 今、私たち大人が大きく変わるとき

子どもたちの未来は、誰一人欠けることなく本当の意味でのシアワセであってほしい。

その為に私たちが本気で取り組まなければならないこと。

話の中で効果的な歌を織り交ぜていきます。スライドや絵を使って、目でもお楽しみいただけます。